

**16 宗源寺**

日蓮宗の寺で、本尊は十界諸尊。宗源寺の名は、他説あるが一説には、畠山宗利が入道して宗源と改名したことによるといわれている。南北朝時代の板碑や滝沢求馬筆の涅槃像などがある。このあたりが高井戸と呼ばれるのは、不動堂が以前は高井山本覚院の高井堂であったためとも、また高台にあったためともされている。隣接して下高井戸の本陣があった。



**17 「日本橋から4里目」標識とケヤキ並木**

内藤新宿から高井戸の宿に向かう甲州街道には、現在ではその上を首都高速4号線が走っている。江戸時代、高井戸の宿は利用客が少ないため、下高井戸と上高井戸で月の半分ずつを交代で務め両宿合わせて1宿扱いであった。この2宿の間で、上を走る高速道路が右へ分かれてゆく手前下に、日本橋から4里目の一里塚があった。現在では「国道20号線、日本橋まで16km」という標識がある。この先甲州街道は、ケヤキの並木が続く。



**19 大橋場の跡と地蔵**

川筋脇の道にほんの数メートル入った洲千歳村大橋場跡と書かれた銅製の橋の脇に数対の地蔵がある。これは江戸辺りの繁栄地頭名主の建てた地蔵尊と人々は身代り出せ地蔵といふ。



**18 蘆花恒春園**

1900年(1907)から昭和2年(1927)に住み、自ら恒春園と名付けた住居がある。没後10年に愛子夫人から東京に譲られた。昭和13年に恒春園の恒春園に児童館の丘を築いた。恒春園の丘を築いた。恒春園の丘を築いた。

